

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4 年 3 月 31 日

事業所名 マザーズ城東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		基準に追加して1名配置し、手厚い支援を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	教室内の装飾は必要最小限に留め、情報刺激を減らしている。	2階にあるため、必要な児童へはスタッフが昇り降りを補助している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に業務改善について話し合う機会を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回の結果はホームページにて、公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行ってないが、3か月に1回社内チームによる監査を行っている。	今後、検討予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		週1回は全社会議や療育勉強会を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		最低6ヶ月に1回は児童・保護者と面談を行い、作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			外部機関実施のアセスメントだけでなく、今後は当社でも行えるようにしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数チームに分かれて、全社的に立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇は平日にできない特別活動もやっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼にて、予想される児童の動き等を共有し、安全面の確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の終礼にて振り返りを行い、次の支援に繋げている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		独自開発のアプリで記録し、モニタリングの際にはそれを元にお伝えする。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最低限6か月に1回に評価する。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時等で都度、行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達支援も開所しているため、連携はしやすい。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて、都度行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて、参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		長期休暇で公園等には行くが、安定的には行えていない。今後の検討課題。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		必要に応じて、参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に直接お話しさせて頂いております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		全社的な課題として、今年度より実施予定。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧にご説明させて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルスの影響で行えておらず。オンライン等での実施を検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		マザーズ新聞や月間予定表等の配布を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きのキャビネットへ収納している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚支援や構造化を中心として療育を組み当てている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域交流は現実的には難しい。代替案を検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者の方へはマニュアル集を配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		2か月に1回は訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年2回社内研修を実施し、年1回以上外部研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		必要な児童がいる場合は行う。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認済。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			